

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成30年4月12日(2018.4.12)

【公開番号】特開2016-154499(P2016-154499A)

【公開日】平成28年9月1日(2016.9.1)

【年通号数】公開・登録公報2016-052

【出願番号】特願2015-35623(P2015-35623)

【国際特許分類】

A 2 3 B 7/144 (2006.01)

H 0 5 H 1/24 (2006.01)

【F I】

A 2 3 B 7/144

H 0 5 H 1/24

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月26日(2018.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

大気圧プラズマジェットを生成する工程と、

前記大気圧プラズマジェットをジャガイモの目に照射する工程と、
を有することを特徴とするジャガイモの萌芽を抑制する方法。

【請求項2】

前記大気圧プラズマジェットを生成する工程では、希ガス、又は、希ガスを含む混合ガスをプラズマ原料ガスとして用いて前記大気圧プラズマジェットを生成することを特徴とする、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記大気圧プラズマジェットを生成する工程では、ヘリウムガスを含むガスをプラズマ原料ガスとして用いて前記大気圧プラズマジェットを生成することを特徴とする、請求項1又は2に記載の方法。

【請求項4】

前記大気圧プラズマジェットを生成する工程では、ヘリウムガスと窒素ガスとの混合ガスをプラズマ原料ガスとして用いて前記大気圧プラズマジェットを生成することを特徴とする、請求項1～3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項5】

前記大気圧プラズマジェットをジャガイモの目に照射する前記工程では、前記ジャガイモの前記目に前記大気圧プラズマジェットを照射する時間は、5秒以上、120秒以下であることを特徴とする請求項1～4のいずれか一項に記載の方法。